

第8課 Lección Octava

■ 本文

【語句】

- 1 teatro〔男名〕 演劇, 劇場
- 2 teléfono〔男名〕 電話 llamar por teléfono a ～に電話をかける
- 3 hola〔間投詞〕 やあ
- 4 ocupado〔形〕 忙しい
- 5 estoy estudiando (現在進行形/YO) < estudiar〔他動〕 勉強する (現在進行形はこの課で扱う)
- 6 por qué〔疑問副詞〕 なぜ
- 7 llamar〔他動〕 ...に電話をかける
 invitarte < invitar + te〔他動〕 (...に [a]) 招待する (invitar という動詞に te という代名詞が接続している)
線過去の婉曲的な用法. Yo te llamaba para invitarte al teatro これは線過去の婉曲的な用法である。「時」を過去に移すことによって調子が少しやわらぐ。「お芝居に誘おうと思って電話したんだけど...」という意味になる。
- 8 cuándo〔副〕 いつ? (疑問副詞)
 terminarás (未来/TÚ) < terminar〔自動〕 (...を [de]) 終える (未来形はこの課で扱う)
 estudiar〔自動〕 勉強する
- 9 pues〔接続詞〕 ええと、そうね (言いよどみをあらわす)
 habré terminado (未来完了/YO) < terminar〔自動〕 (を [de 不定詞]) 終える
 tarde〔女名〕 午後
- 10 fenomenal〔副〕 すばらしく (ここでは間投詞として用いている「よかった!」という意味)
 obra〔女名〕 作品

comenzar〔自動〕 始まる

media〔女名〕 半分

時刻を示す表現. 「1時」や「1時半」は定冠詞 la を用いて a la una, a la una y media という. 2時以降は定冠詞 las を用いる. 15分は cuarto という.

例: a las cinco y cuarto 「5時15分に」.

11 así que〔成句〕 よって

pasaré (未来/YO) < pasar〔自動〕 寄る

a〔前〕 (...〔不定詞〕) するために

recogerte < recoger + te〔他動〕 取る, 集める (ここでは「迎える」の意味)

vale〔間投詞〕 オークー

12-13 nos veremos (未来/NOSOTROS) < verse〔再帰動詞〕 他動詞 ver+再帰代名詞 se お互いに会う (再帰動詞の用法はこの課で扱う)

14 casa〔女名〕 家

15 perdón〔男名〕 許し (ここでは「すみません, ごめん」という意味)

16 es que〔接〕 じつは、～だから

detener〔他動〕 ひき止める, 抑える (ここでは「足留めを食った」という意味)

un poco〔成句〕 少し

17 crees < creer〔他動〕 思う

minuto〔男名〕 分

poco〔形〕 少し

18 llegaremos (未来/NOSOTROS) < llegar〔自動〕 着く

a tiempo〔副〕 間にあって

19 lamentablemente〔副〕 残念ながら

tarde〔副〕 遅く

ya〔副〕 すでに

habrá empezado (未来完了/ÉL) < empezar〔自動〕 始まる (未来完了はこの課で扱う)

función [女名] 上演, 芝居

lamentable [形] 残念な + mente [副詞の語尾] で、lamentablemente [副詞]
(残念なことに) となる

20 entonces [接続詞] それでは

nos vamos < irse [再帰動詞] 行ってしまう (再帰動詞の用法はこの課で扱う)

21 veremos (未来/NOSOTROS) < ver [他動] 見る

22 vamos a < ir a [助動] (... [不定詞]) これから…する (近い未来を示す)
Federico García Lorca [固有名] フェデリコ・ガルシア・ロルカ ; スペインの詩人, 劇作家, 1898-1936)

titulada < titular [他動] ...に (...という [目的語の補語]) 題をつける

Yerma [固有名] イエルマ (ガルシア・ロルカの作品中の女主人公の名)

Vamos a ... : ir a は「近い未来」を示す. なお, 人称複数で用いると「...しよう」という「勧誘」の意味になることが多い

23 trata < tratar [自動] (...を [de]) 扱う

mujer [女名] 女性

marginar [他動] 疎外する

por [前] ...によって

sociedad [女名] 社会

injusto [形] 不当な

mejor [形] よりよい, より優れた (この文では定冠詞とともに用いられているので, 最上級となる. 「もっとも優れた」という意味. 最上級についてはこの課で扱う)

autor [男名] 作者

24 seguro que [成句] 確かに...だろう

gustará (未来/ÉL) < gustar [自動] (...に [a]) 気に入る

mucho [副] とても

【訳】

- 1 「演劇」
- 2 (フアン、友子に電話をかける)
- 3 もしもし、友子、僕、フアンだよ。
- 4 今忙しい？
- 5 うん、勉強中なの。
- 6 どうして？
- 7 芝居に誘おうと思って電話したんだ。
- 8 勉強いつごろ終りそう？
- 9 そうね、午後8時までには終わらせてしまうつもり。
- 10 ちょうどいい！芝居の出し物は8時半に始まる予定なんだ。
- 11 だったら、8時5分に迎えに寄るってことでいいかな？
- 12 オーケー。
- 13 8時5分に会いましょう。
- 14 (8時20分、友子の家で)
- 15 友子、ごめん。
- 16 じつは、友達と会っちゃって、ちょっと足留めを食ったんだ
- 17 15分が「ちょっと」だと思ってるの？
- 18 私たちお芝居に間に合うのかしら？
- 19 残念ながら僕たちは遅刻みたいだね、もう開演してしまっている頃だろうし。
- 20 なんだ、それならすぐ出かけよう！
- 21 あ、そういえば、何のお芝居を見るの？
- 22 フェデリコ・ガルシア・ロルカの『イェルマ』というタイトルの作品を見るんだ。
- 23 この作品は不当な社会から疎外された女性たちを扱っていて、この作者の最高傑作の一つだよ。
- 24 きっと君の気に入ると思うよ。

▼文法

1.不定詞と分詞

不定詞は動詞が動詞の意味の概念そのものを示し、名詞的に使われるときの形である（「...すること」と訳せることが多い）。現在分詞は進行の意味を示し、副詞的に使われるときの形である（「...している」と訳せることが多い）。そして過去分詞は受動・完了の意味を示し、形容詞的に使われるときの形である（「...された」と訳せることが多い）。それぞれの語尾は次のようになる。

不定詞	cant- <i>ar</i>	com- <i>er</i>	viv- <i>ir</i>
現在分詞	cant- <i>ando</i>	com- <i>iendo</i>	viv- <i>iendo</i>
過去分詞	cant- <i>ado</i>	com- <i>ido</i>	viv- <i>ido</i>

不定詞の語末は *r*、現在分詞の語末は *ndo*、過去分詞の語末は *do* である。その前に *ar* 動詞、*er* 動詞、*ir* 動詞にそれぞれ特徴的な母音がつく。それは、不定詞-現在分詞-過去分詞の順で示すと、*ar* 動詞は *a-a-a*、*er* 動詞は *e-ie-i*、*ir* 動詞は *i-ie-i* となる。

1)不定詞と不定詞構文

* 不定詞は動詞の名詞形で、男性として扱われる (el comer 食べること)。

- (1) Ver es creer. // 見ることは信じることである(「百聞は一見にしかかず」にあたることわざ)
- (2) Después de ver el vídeo, discutiremos sobre el tema. // ビデオを見てから、このテーマについて話し合しましょう。
- (3) ¿Qué piensas hacer este fin de semana? // 今週末は何をするつもりですか。
- (4) Esta canción siempre me hace llorar. // この歌はいつも私を泣かせる。(この歌を聞くと、いつも私は泣いてしまう)

【語句】 **creer** 〔他動〕 信ずる; **después** 〔副〕 後に; **video** 〔男名〕 ビデオ; **discutir** 〔自動〕 議論する; **sobre** 〔前〕 ～について; **tema** 〔男名〕 主題; **pensar** 〔他動〕 思う; **fin** 〔男名〕 終わり; **canción** 〔女名〕 歌; **siempre** 〔副〕 いつも; **llorar** 〔自動〕 泣く.

(1)の主語も補語もどちらも不定詞である. どちらも「～すること」という意味の動詞の名詞形である.

(2)は前置詞(de)の目的語の場合である. 前置詞の後には一般に名詞が使われるので, それが動詞であるときは不定詞形となる.

(3)は動詞 (pensar)の目的語の場合である. 他動詞の目的語も一般に名詞が使われる. ここでは動詞の不定詞形が使われ, 「...することを考える」→「...するつもりである」という意味になる.

(4)は不定詞が使役構文の中で使われた場合で, 「私を泣かせる」という意味になる. 構文としては, **me** が **hace** の直接目的語, **llorar** はその目的語の補語となり, 両者は主語と動詞の関係 (「私が泣く」) になる.

このように不定詞は, 動詞の意味を保ちながら, その位置的な制約(主語, 主語の補語, 前置詞・動詞の目的語, 目的語の補語)により, 名詞形としなければならないときに使われる形である.

2)現在分詞と現在分詞構文

* 不規則形

現在分詞には最初に示した規則形の他にいくつかの不規則形がある.

- **pedir** → **pidiendo**
- **sentir** → **sintiendo**
- **dormir** → **durmiendo**

- **ir** → **yendo**

- **huir** → **huyendo**

pedir, sentir, dormir のタイプの語根母音変化動詞は語根の部分が **i, u** となる。これらのタイプの動詞は **ir** 動詞に限られる。

ir と **huir** は規則に従えば、それぞれ **iendo, huyendo** となるが、**ie** は語頭や母音の後では変化して **ye** となる。**uir** で終わる動詞はすべて **huir** と同じように変化する。たとえば、**construir – construyendo**。

* 現在分詞は次のような用法がある。

- **Los niños comen viendo la televisión.** // 子供たちはテレビを見ながら食事をしている。
- **Dejé a mis hijos jugando a su gusto.** // 私はうちの子供たちを好きなように遊ばせておいた。
- **Viajando por los países extranjeros aprendemos otras culturas.** // 私たちは外国を旅行して異文化を学ぶ。

【語句】 **hijo** [男名] 息子; **jugar** [自動] 遊ぶ; **gusto** [男名] 好み; **viajar** [自動] 旅する; **país** [男名] 国; **extranjero** [形] 外国の; **aprender** [他動] 学ぶ; **otro** [形] 他の; **cultura** [女名詞] 文化。

(1)は現在分詞が動詞を修飾する場合である。**viendo** は **comen** という動詞に直接かかっている。「...しながら...する」という意味になる。

(2)は「...させておく」という意味(「放任」)で使われる **dejar** という動詞の用法である。構文は、主語(**yo**) + 動詞(**dejé**) + 目的語(**a mis hijos**) + 目的語の補語(**jugando a su gusto**)となる。補語は副詞になることもあるので(**Estoy bien**。「私は元気です」の副詞 **bien** は **yo** の補語)、この場合の **jugando...** も動詞の副詞的な形であるといえる。

(3)現在分詞が文頭にあると分詞構文となり、その部分が「時・条件・理由・付帯状況」などを示す。たとえば上の文は「時」と解釈できる。現在分詞の意味上の主語は主文と同じになる(ここでは **aprendemos** の主語「私たち」)。

* 進行形 : **estar** + 現在分詞

現在分詞は進行の意味があるので、**estar** とともに進行形を作る。**estar** が用いられるのは動作の進行している「状態」を示しているからである。

- ¿Qué estás haciendo? ---Estoy esperando el tren. // 君は何をしているの？ - 電車を待っているんだ。

【語句】 **esperar** [他動] 待つ; **tren** [男名] 電車。

estar の活用が過去であれば過去進行形になり、未来であれば未来進行形になる。

3) 過去分詞と過去分詞構文

* 過去分詞は動詞の形容詞形であり、そのため性数の変化がある。

- Llegamos cansadas al hotel. // 私たち(女性)は疲れてホテルに到着した。
- Encontré a Jorge animado. // 私はホルヘがやる気を出しているのを見た。

【語句】 **hotel** [男名] ホテル; **encontrar** [他動] 出会う; **cansarse** [再帰動] 疲れる; **animar** [他動] 元気づける; **Jorge** [固有名] ホルヘ。

(1)は **cansadas** が主語の「私たち」を修飾している。この場合女性複数形となっているので、主語が複数の女性であることがわかる。

(2)は **animado** が目的語の **Jorge** を修飾している。**Jorge** が男性単数なので **animado** となるが、それが **Juana** のように女性単数であれば **animada** となる。複数形でも同様である。ここでは目的語の補語として動詞の形容詞形である過去分詞が使われている。一般に形容詞が補語のときはそれがかかる名詞と性数一致をする。

過去分詞は基本的に「受動・完了」の意味（「...されている・ある」）を持つが、再帰動詞の過去分詞は上の例のように能動的な意味になる。たとえば(1)の **cansado** は **cansarse** 「疲れる」の過去分詞であり、「疲れさせられた」と

いう受動の意味よりも「疲れた」という能動の意味になる。また(2)の animado は animarse 「元気を出す」の過去分詞であり、「元気づけられた」というよりも「元気を出した」という意味になる。

受動の意味が典型的に表れるのは次の受動態の構文である。

*** 受動態 : ser + 過去分詞**

- Esta casa fue diseñada por un arquitecto famoso. // この家は有名な建築家によって設計された。

【語句】 **diseñar** [他動] 設計する; **arquitecto** [男名] 建築家; **famoso** [形] 有名な。

この構文は主語+ser+主語の補語という構造になり、補語は主語の性・数に一致する。ここでは casa が女性単数なので diseñada という過去分詞も女性単数形になる。

一方、過去分詞は動詞の完了形でも用いられるが(Hemos diseñado esta casa. 「私たちはこの家の設計をしました」)その場合は過去分詞は変化しない。それは受動態のような主語と補語の関係にならないからである。

2. 比較

(1) 形容詞・副詞の比較級

形容詞と副詞の優等比較級は más 「より」という副詞を用いて「より...である」という意味になる。そして、比較項は que 「...より」を用いる。劣等比較級では menos を使う。

- 優等比較級 : más + 形容詞+ que ... [de ...]
- 劣等比較級 : menos + 形容詞+ que ... [de ...]
- Esta novela es más interesante que ésa. // この小説はそれよりもおもしろい。

- Este coche es menos caro que el tuyo. // この車は君のより高価ではない。

【語句】 **novela** 〔女名〕 小説; **interesante** 〔形〕 面白い; **coche** 〔男名〕 自動車, 車; **caro** 〔形〕 高価な.

(2) que と de

比較されるものが lo+形容詞, lo que 節や数量のときは que ではなくて de が用いられる.

- Dionisio bebió más de lo debido y no puede regresar a su casa. // ディオニシオは度を超して飲んだので家に帰れない。
- He engordado más de tres kilos desde que estoy en España. 私はスペインに来てから3キロ以上太りました。
- El problema es más complejo de lo que crees. // 問題は君が思っているよりも複雑だ。

【語句】 **Dionisio** 〔男名〕 ディオニシオ; **beber** 〔他動〕 飲む; **debido** 〔形〕 適当な; **puede** < poder 〔助動〕 (... 〔不定詞〕) できる(contar 型の語根母音変化); **regresar** 〔自動〕 (...に [a]) 帰る; **casa** 〔女名〕 家; **engordar** 〔自動〕 太る; **kilo** 〔男名〕 キログラム; **desde que** 〔接〕 ...以来; **problema** 〔男名〕 問題; **complejo** 〔形〕 複雑な; **crees** < creer 〔他動〕 信じる.

(3) 比較級の不規則形

一部の形容詞と副詞は独自の不規則な比較級をもつ。たとえば, bueno, malo の比較級は×más bueno, ×más malo ではなくて mejor, peor となる。これは副詞 bien の比較級でもある。(人の性質を表すときは más bueno 「より善良な」が用いられる。) 同じように mucho の比較級は más であるが, これは規則的な形容詞と副詞の比較級で用いられた形と同じである。poco の比較級は menos である。最後に, grande には mayor という特殊な比較級がある。これは抽象的な意味や年齢で用いる。(具体的な大きさを言うときは más grande という規則的な比較級を用いる。pequeño の比較級である menor も同様である。)

形容詞	比較級
bueno	mejor
malo	peor
mucho	más
poco	menos
grande	mayor
pequeño	menor

- El estímulo suele tener mejor efecto que el castigo. // 激励のほうが罰より効果的であることがおおい.
- Estudio menos que mi hermana. // 私は姉よりも勉強しない.
- Mi hermano es tres años mayor que yo. // 私の兄は私より3歳年上だ.

【語句】 **estímulo** 〔男名〕 刺激, 激励; **suele** < **soler** 〔助動〕 よく(...〔不定詞〕) する, ...するのが普通である; **efecto** 〔男名〕 効果; **castigo** 〔男名〕 罰; **estudiar** 〔他動〕 勉強する; **hermana** 〔女名〕 姉(または妹); **hermano** 〔男名〕 兄(または弟); **tres años** 3歳(比較した差は比較級の前に置く) .

(4) 同等比較級

- 同等比較級 : **tan** + 形容詞 + **como** ...

「～と同じほど...である」という意味になる.

- La vida de aquí no es tan fácil como la de tu país. この生活は君の国の生活ほど楽ではない.

【語句】 **vida** 〔女名〕 生活, 人生; **aquí** 〔副〕 ここ; **fácil** 〔形〕 容易な; **país** 〔男名〕 国.

3. 再帰動詞の基本用法

たとえば, levantar [他動] 「起こす」は他動詞構文で, 次のように使われる.

- Te levanto. // 私は君を起こす.
- Me levantas. // 君は私を起こす.
- Las levanto. // 私は彼女たちを起こす.

一方, 次のような構文もある.

- Me levanto. // 私は自分自身を起こす → 私は起きる.
- Te levantas. // 君は君自身を起こす → 君は起きる.

このように, 主語の人称・数と一致し, 「自分自身を」という意味を表わす代名詞を再帰代名詞とよぶ. 再帰代名詞を目的語とする動詞を再帰動詞とよぶ. この場合「(自分自身を) 起こす」という他動詞の意味が転じて「起きる」という自動詞の意味になる.

levantarse	
me levanto	nos levantamos
te levantas	os levantáis
se levanta	se levantan

再帰代名詞は 1 人称と 2 人称では弱勢代名詞(目的語の代名詞)と同じ形になるが, 3 人称では単数でも複数でも se という形になる. (Le levanta. と言うと再帰構文ではなく, 他動詞構文で「彼は彼(別の人)を起こす」という意味になる.)

再帰動詞の不定詞を表示する場合には levantarse と 3 人称で代表し, 動詞のあとに再帰代名詞を直接つなげて表示する.

(se は間接目的語代名詞 3 人称の別形としても使われるので注意しよう. Se lo doy. 「私は彼にそれをあげる」. この用法での se は再帰代名詞ではない. 3

人称代名詞が間接目的語+直接目的語と連続する語順で起る間接目的語の言い換えである。(le / les→se)

* 直接再帰用法

この用法では直接目的語の部分が「自分自身を」という意味を表わしている。

- Mi hermana se miraba en el espejo. // 私の姉は鏡で自分を見ていた。

* 間接再帰用法

この用法では、間接目的語の部分が「自分自身に（自分自身のために）」という意味を表わしている。

- Me lavo la cara con agua fría. // 私は自分自身のために顔を冷たい水で顔を洗う → 私は自分の顔を洗う。

Yo lavo mi cara.とは普通言わない。

* 自動詞化用法

他動詞が自動詞に変わる。他動詞 **poner** は「...という状態にする」という意味だが、再帰代名詞がつくと自動詞化して「...という状態になる」という意味になる。

- Juan se pone nerviosa. // フアンは自分自身をイライラした状態にする →フアンはいらいらする。

* 相互用法

複数形で用いられ、「お互いに」という意味になる。再帰代名詞は間接目的語として使われる場合と直接目的語として使われる場合がある。

- Últimamente nos comunicamos por correo electrónico. // 最近私たちは E-mail で連絡しあっている

【語句】 **últimamente** 〔副〕 最近, このごろ; **comunicar** 〔他動〕 ...に通信する, 連絡する, **por** 〔前〕 ...によって, **correo electrónico** 〔男名〕 E-mail.

*** 意味の微妙な変化**

再帰代名詞がつくと意味が変化する動詞がある。たとえば, marchar は「行進する」という意味だが, marcharse では「立ち去る」という意味になる。

- Me marchó dentro de poco. // 私はもうすぐ出発します。

■ 練習

1.

【解答】

- 1) He estado esperando el metro unos diez minutos.
- 2) Estábamos estudiando en la biblioteca.
- 3) Estoy regando las plantas.
- 4) Estaremos practicando esquí mañana a esta hora.

【語句】

- 1) unos (複) [形] (+数詞で) 約, およそ (不定形容詞)
- 2) antes de [成句] ...の前に
- 3) regar [他動] ...に水をやる, 水をかける
planta [女名] 植物, 草木
- 4) practicar [他動] (修得したことを) 行う
esquí [男名] スキー

【訳】

例) 君は何をしていますか?

私は電話で話しているところです。

- 1) 君はどのくらいの時間地下鉄を待っていましたか。
私はおよそ十分間地下鉄を待っていました。
- 2) 君たちはスペイン語の授業の前に何をしていましたか?

私たちは図書館で勉強していました。

3) 君は庭で何をしていますか？

私は草木に水をやっているところです。

4) いつ私たちはスキーをしているのでしょうか？

明日の今頃の時間には私たちはスキーをしています。

2.

【解答】

- 1) respetada
- 2) repetir
- 3) leyendo, poner
- 4) subiendo (subir)

【語句】

- 1) voluntad [女名] 意思, 意志
pueblo [男名] 国民, (政府に対して) 人民
respetar [他動] 尊敬する, 尊重する
- 2) repetir [他動] 繰り返して言う
- 3) poner [他動] (電気・ガス器具の) スイッチをオンにする, 点ける
- 4) escalera [女名] 階段

【訳】

- 1) 国民の意思は尊重されねばなりません。
- 2) 先生は学生たちにそれらの練習問題を(自分の後について)繰り返して言わせました。
- 3) 私たちの父は新聞を読んでいたのだから、私たちにテレビを点けさせてくれませんでした。
- 4) 私は彼が階段を上がっていく姿を目で見たわけではありませんが、確かに耳でその足音を聞きました。

3.

【解答】

- 1) La maleta azul es más grande que la marrón.
- 2) Esta cámara fotográfica es mejor que ésta.
- 3) Tu mochila es más ligera que la mía.
- 4) El vino francés es más caro que el chileno.

【語句】

- 例) gris [形] 灰色の
cómodo [形] 快適な, 住み心地がいい
- 1) maleta [女名] スーツケース
marrón [形] 茶色の
 - 2) cámara fotográfica [女名] カメラ
 - 3) mochila [女名] リュックサック
ligero [形] 軽い
 - 4) vino [男名] ワイン
caro [形] (値段が) 高い
chileno [形] チリ (Chile) の (地名形容詞)

【訳】

- 例) 白い家は灰色のより住み心地が良い。
- 1) 青いスーツケースは茶色のより大きい。
 - 2) このカメラはそれよりも (性能が) 良い。
 - 3) 君のリュックサックは僕のよりも軽い。
 - 4) フランスのワインはチリのより値段が高い。

4.

【解答】

- 1) Los libros de Ciencias Naturales son tan interesantes como los de Historia.
- 2) Tu ordenador es tan eficaz como el mío.
- 3) Esa tienda es tan barata como aquellos supermercados.
- 4) Nuestro coche es tan bueno como el vuestro.

【語句】

- 1) ciencias naturales (複)〔女名〕自然科学
historia〔女名〕歴史
- 2) ordenador〔男名〕コンピューター
eficaz〔形〕効果的な, 効率が高い, 処理速度が大きい
- 3) tienda〔女名〕店, 商店
supermercado〔男名〕スーパーマーケット
barato〔形〕(値段が)安い

【訳】

- 例) 白い家は灰色の家と同じくらい住み心地が良い.
- 1) 自然科学の本は歴史の本と同じくらい面白い.
 - 2) 君のコンピューターは私と同じくらい処理速度が大きい.
 - 3) その店はあれらのスーパーマーケットと同じくらい安い.
 - 4) 私たちの自動車は君たちの自動車と同じくらい性能が良い.

5.

【解答】

- 1) nos
- 2) se
- 3) me
- 4) te

【語句】

- 1) divertirse [再動] 楽しむ
- 2) querer [他動] (特に男女間で) 愛する
- 3) calle [女名] (市街地で, 屋内に対して) 屋外, 外
bufanda [女名] マフラー
- 4) dormirse [再動] 眠りこむ
en seguida [成句] すぐに

【訳】

- 1) 昨日のパーティーでは私たちは大いに楽しみました.
- 2) フアンとマリアはとても愛しあっています.
- 3) 戸外が寒くなったら, 私はマフラーをします.
- 4) 昨夜君は床につくとたちまち寝入ってしまいました.

西訳

【解答】

- 1) Mañana a esta hora estaremos preparando el viaje.
- 2) Cuando salía de casa, Ramón dejó la ventana abierta.
- 3) Carmen es más inteligente de lo que crees.
- 4) ¿Qué es lo más importante para tener buena salud?

【語句】

- 2) ventana [女名] 窓
- 3) inteligente [形] 頭のいい, 賢い, 知能の高い
- 4) salud [女名] 健康, 健康状態, 体の具合